

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Vol.09
2021

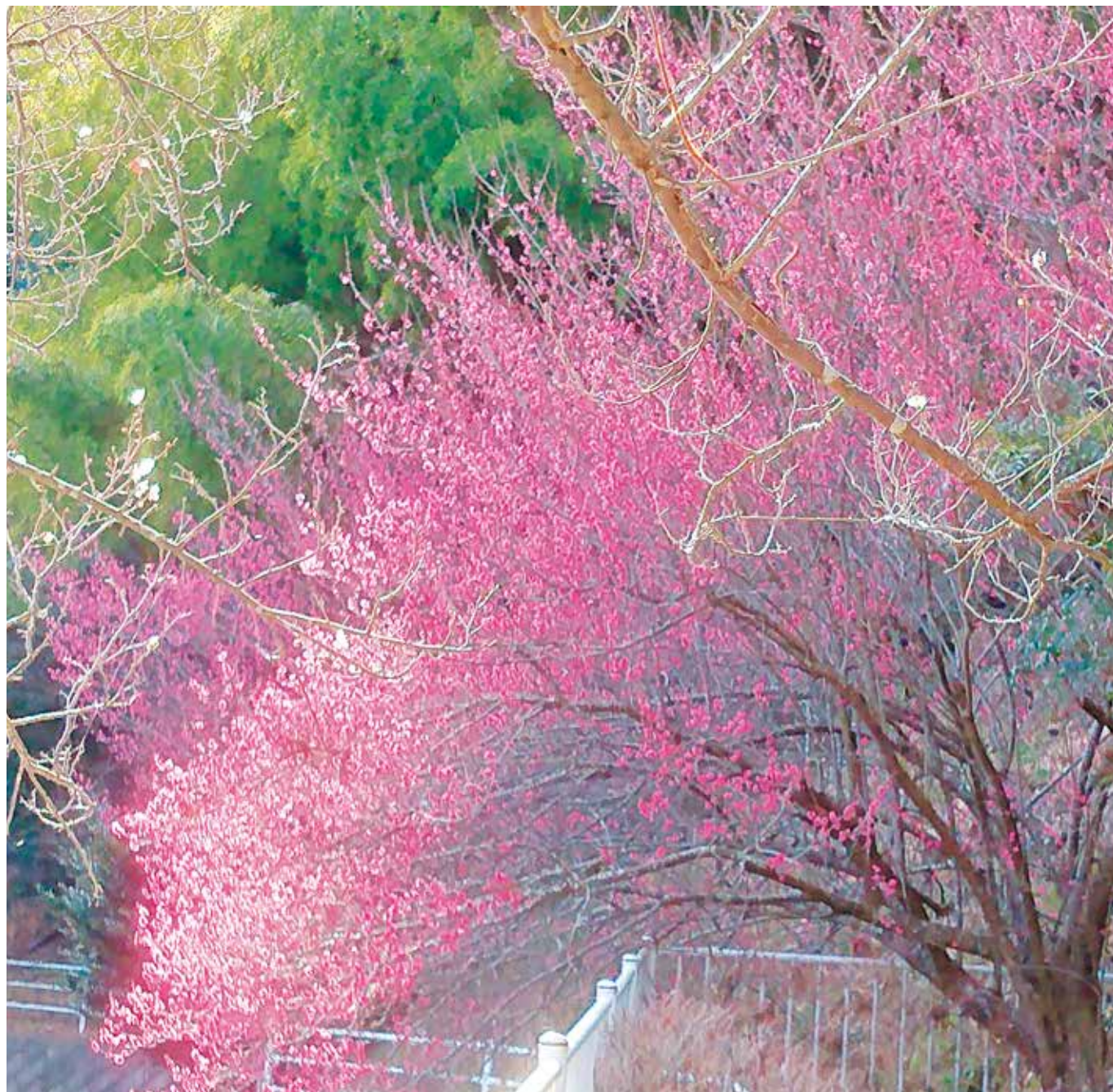
03

Rotary
第2530地区



Rotary Opens
Opportunities

Rotary International District 2530



「紅梅・白梅の梅林寺」(撮影：坂本和久)

CONTENTS ガバナー月信 2021年03月号

後期地区委員会総会	2	会員拡大に向けて	9	新会員紹介	14
後期地区委員会総会 委員会報告	3	IAC/RAC紹介	10	ロータリー財団ご寄付の認証者・米山記念奨学会 米山功労者	14
インターアクト交流事前打合せ会	7	学友・平和フェロシップ帰国報告	11	1月会員数報告	15
ロータリーと危機管理	7	ラーニングセンター利用状況	12	地区大会のご連絡	16
第2回ガバナー補佐会議	8	職業奉仕委員会	13	3月行事案内	16
米山記念奨学会奨学生カウンセラー終了式	8	阿久津 肇バスター「RI超私の奉仕賞」を受賞	13	公共イメージQRコード	16

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2530地区
2020-21年度ガバナー

石黒 秀 司

親愛なる2530地区の皆さま

首都圏での緊急事態宣言も延長され、予定していた各分区のIMの中止、または延期。また、後期委員会総会、米山記念奨学生修了式などのオンライン開催など後期の出鼻を挫かれ、コロナ禍の出口が全く見えない状況です。私自身も年度の大きなクライマックスとスムーズなバトンタッチの為に、「4月4日の地区大会を是非、少しでも多くのメンバーで開催したい!!」と思っていますので、AIによる福島県のコロナ感染者数予想を見て、「これなら、何とかできそうか?」「無観客でのオンライン地区大会だけは、絶対、避けたい!!」などと一喜一憂しているような状態です。1月下旬に各クラブにお聞きしたところでは、2月第2週の例会開催状況は、オンライン例会とハイブリッド・通常例会の開催クラブは、15クラブ程に止まっています。80%近くのクラブが、例会休止です。例会の休止が、そのままクラブの活動停止になり、停止期間が長くなることで、クラブの後退、決定的衰退にならなければよいなあと思っています。今年度は、PETSがDVD、地区研修・協議会がオンライン開催で、Zoomという大きな武器を手に入れました。ただ単に「クラブ例会休止」ではなく、クラブ停滞、後退、衰退にならないよう、知恵を絞って、何らかの行動をしていたきたいと思います。

「今年は、9回裏までの攻撃がないかもしれませんが。5回降雨コールドゲームも覚悟して下さい…。だから、今ここに全神経を集中させて、前倒しで、特に、年度前半に事業を遂行してください。」とガバナー公式訪問の時に、会長・幹事の皆さまには申し上げましたが、まるで、今の外的環境を想定していたようなことばとなってしまいました。

ひょっとしたら、これからの2か月が、積極的行動の時かもしれません。野球で言えば、5回終了時に土砂降りの雨が降ってきて、試合は一時中断。雨が小降りになり、今、グラウンド整備をしている。そんな時です。まだまだ、やり残したことがたくさん

あります。「クラブの魅力最大化からの会員増強は如何ですか?」「その他の事業は予定通り?」こんな中途半端な形では終われません。しっかりと目標を完遂するために、今一度、しっかりと目標を確認していきましょう。そして、この3月、4月は、「今ここに、全神経を傾けていきましょう!!」次に、雨が降ったら、試合終了です。正に、チャンスを頂いたようです。

さて、ご案内の通り、地区大会のスローガン「今こそ奉仕! 澎湃と渦巻け!!」としました。この澎湃ということばは、日本のロータリー100周年に、そして震災からの10年に相応しいことばだと感じています。「澎湃(ほうはい)」は、◎水がみなぎり逆巻く様。◎物事が盛んな勢いで沸き起こる様をいいます。正に、それぞれが、自己磨きの中で体得、信じた奉仕の行動・考動から新時代の気運をそれも勢いのある気運をかもし起こす願いを込めています。新たな気付きであり、感動であり、意欲的焦燥感であり、行動です。この1年のすべてが、次の100年へと繋がります。大いに学んでいただきたいと思えます。記念講演会には、上皇陛下心臓手術執刀医の天野篤先生で、「明るい未来への手がかりを探る」の演題にてご講演いただきます。先生の書籍の目次には、「自分が受けた恩を世の中に返したい」「志を持たないままで、天職といえるか」「今できる事を確実に行う—それで結果が必ずついてくる」などのことばが続きます。今、お聞きしたい、今、私たちに必要なことなのでは、ないでしょうか。さらに、クラブ活性化の為にセミナーとして第2610地区・柳生好春パストガバナーに元気の出るご講演いただきます。柳生先生は、ロータリー研究会、分科会でのパネリストをお勤めの時が、最初の接点です。はきはきとした理路整然の語り口に感動した記憶があり、お願いいたしました。どうぞ、ダブル講演、お楽しみに、学びにおいていただきたいと思えます。大きな学び、気付きが得られると確信しています。

外的要因でどんよりと淀んだ気持ちになりがちですが…。でも、これでは、ダメですね。そうです。しっかり、準備して年度を迎えたのですから、「さあ、しっかり楽しみましょう!」と、今一度、気持ち新たに、明るく行きましょう。そして、外的要因はどうあれ、掲げた地区目標達成の為に、日本ソフトバンクを率いる孫正義氏のように脳みそがちぎれるほど考えましょう!!

そして、コツコツ、コツコツ、コツコツ、コツコツ行動して参りましょう!!

後期地区委員会総会 委員会報告 1月23日

地区研修委員会



委員長 平井 義郎
(福島中央RC)

1. 上期の反省

7月11日郡山ユラックス熱海で開催予定のクラブ研修リーダーセミナーに備え7月5日に委員会を開催しました。

その後、ロータリー財団セミナーを初め地区の各委員会セミナーに出席しました。

上期を終えて各委員会の研修委員会に対する役割の認識があまりされていないと感じました。

研修委員会は地区の各委員会がセミナー等を開催する際、企画段階から参加し、RIの新しい情報や方向性、他地区の動きなどを参考に新しい考え方、方法を各委員会に知らせ、会合が成功するようにサポートすることが役割です。

クラブ研修リーダーに対してはクラブ内の研修の実施を推

進し、新会員、中堅会員、ベテラン会員に対するクラブ内研修を実施するようお願いしました。クラブの研修の実現が困難な場合RLI委員会のセミナーに参加しロータリーを理解することもその方法の一つです。

戦略計画によりクラブ計画を立てること、My ROTARYに参加し、活用することなどをお願いしました。

オンラインセミナーにより、地区の会合にもZoomなどの使用が増え、特にRLI委員会ではパートⅡ、パートⅢをオンラインで実施しましたが、それに備えるため、IT委員会とテクニカルコーディネーターのオンラインの技術や手法の勉強会と実地練習を行いました。本日の委員会総会もその努力の賜です。ありがとうございます。

2. 後期計画

新型コロナウイルスがまん延し、一同に会しての会合が困難な中、経費、時間削減、開催日時の柔軟性など利点が見込まれるZoomの利用推進を行います。

IT委員会の知識習得と技術力アップを支援しながら、地区会合のみならず、クラブでの活用を推進する予定です。

知識習得のためのラーニングセンターは内容の充実が進み、今後益々利用価値が高まると思いますので、活用の推進、合わせて利用状況を集計し月信に掲載する予定です。

規則・手続委員会



委員長 高橋 金一
(郡山西RC)

今年度、規則・手続委員会は、前年度終盤に行ったアンケート結果を踏まえて、委員会セミナーの開催と地区運営規定の改正作業を大きな柱として活動を開始しました。

地区内64クラブのうち、40クラブから回答を頂戴したアンケートの結果を分析すると、2019年規定審議会における標準定款改正があったことを知らなかったというクラブは40クラブ中1クラブのみでした。このことからすると、標準クラブ定款改正の認知度はほぼ十分であると思われる。但し、定款未改正にもかかわらず、例会の開催日を月2回としているクラブが見られたことからすると、規定審議会の審議結果がどのようにクラブ運営に影響するかということについての理解が浸透していないのではないかと懸念も感じられました。

ました。

しかしながら、今年度は、RLIにおいて規定審議会・決議審議会についてもセッションが設けられ、研修が行われていることから、この点に関する委員会セミナーの開催は見送らせて頂きました。

ただ、皆様から頂戴した各クラブの定款を分析して、更に突っ込んだ内容のセミナーを開催することも予定しましたが、残念ながらその分析まで手が回らず、後期においてはこの点を検討して、次年度につなげたいと思っております。

2番目の大きな活動の柱として、地区運営規定の改正作業があります。昨年論点整理を終えて、今年度成案を作成すべく、活動を開始しました。石川クラブの佐川委員の尽力もあって、一定程度の素案の作成までこぎ着けましたが、今年度地区大会において新たな試みも行われましたので、その運営の実践を踏まえた改正を行う必要があると考えるに至りました。そこで、再度、全体を見直すこととし、後期においては、そうした観点から改正作業を急ぎたいと考えています。

規則・手続委員会も新設から2年を経過しようとしており、今後は、規定審議会の開催スパンにあわせて3年スパン程度の活動マニュアルを作成し、次年度以降の活動に役立てていきたいと考えています。

RLI委員会



委員長 鈴木 和夫
(福島中央RC)

前期の報告

本来であれば、2020-21年度のRLI委員会の活動は、第3期のパートⅠ、Ⅱ、Ⅲを計画し実施することでした。しかし、前年度の2019-20年度に行うはずであった第2期のパートⅡとⅢが、新型

コロナウイルス感染拡大防止のため実施が不可能となり、当年度に延期となってしまいました。やむを得ない判断でしたが当年度の前期は、第2期のパートⅡを11月1日、パートⅢを12月12日にオンラインRLIでそれぞれ行いました。参加者はそれぞれ50名前後でした。今後は、会員であればだれでも参加できるような案内にしたいと思います。

オンラインRLIを実施するにあたっては、IT委員会や有志の会員の方々にTCとして応援をいただき数回のトレーニングを重ねて本番を迎えました。パートⅡとⅢでの卒業者は合わせて27名でした。他地区からも多数のロータリアンが見学参加したことは大きな意義があったと思います。

RLI委員会の研修活動は、RLI委員会のみならずDLやTCなど多くのロータリアンがチームワークを大切にし、献身的な奉仕の精神で協力していただいているからこそ実現可能となります。皆さんに深く感謝申し上げます。

後期の計画

- 1) 5月8日(土)ユラックス熱海で第3期のパートⅠをリアルRLIで計画します。
- 2) 新DL候補者が決まり次第、数回トレーニングを計画します。
- 3) 第2期報告書の作成

内容：DLの自己紹介 DLを経験して思うこと 参加者名簿 卒業者名簿各パート評価書 アンケート その他

会員増強・拡大・ロータリー情報委員会



委員長 比佐 臣一
(いわき小名浜RC)

前期を終えての反省点。

1. 各クラブ会長に対し、会員一人が必ず会員候補一人を推薦する作次作戦の要(かなめ)である会員候補者推薦状の回収の人数と計画達成状況の確認を行い、成果を挙げられるよう努力を要請することが不十分であった。
2. 委員長、副委員長の4人を先頭に、地区委員会全委員が、地区内のクラブ訪問計画を立て、全クラブを訪問し、増強への熱意を引き出すなど、総合的な目配りが不十分であった。

後期の計画

1. 各クラブ会長へ連絡し、SAKUJI作戦の会員候補者推薦状の回収状況と成果についての報告を要請し、その結果を検討し、クラブ会長と一緒に改善の方策を考え

- ること。
2. 理事会と例会で、毎月、会員増強への努力を要望することを改めて要請する。
3. 会長・幹事・会員増強委員長が率先行動してくれることを再要望。
会長が本気になって努力している姿を見せることによってのみ、クラブの目標達成が可能であることを確認してもらうこと。
4. 地区の会員増強・拡大・情報委員会の委員長・副委員長4人を先頭に地区委員会各委員に、地区内クラブの担当を決め、訪問し、例会卓話の時間を取ってもらい、増強についてお願いをする。
去年から正月にかけて新型コロナウイルス感染症が更に拡大し、かつてない嵐の中の増強活動となり、皆様には大変なご苦勞をおかけしております。
しかしながら、全企業が不景気で喘いでいるではありません。有卦(うけ)に入っている企業もあることに注目し、情報を集め、入会を勧めてほしいと考えております。
いつも語ることですが、ロータリークラブの会員増強の決め手は、会長・幹事・会員増強委員長さんがどのくらい本気になるかにかかっております。残り半年、会長・幹事・増強委員長さんの奮起を期待しております。

公共イメージ・IT委員会



委員長 相良 元章
(福島RC)

【前期活動報告と後期活動計画】

1. クラブサポート

- ①公共イメージ・ITセミナーの開催…8/29(土)開催済み
- ②MY ROTARYとロータリーショーケース、ロータリークラブセントラルの登録支援を通してロータリー会長賞への挑戦を促す…コロナ禍のため支援方法を検討する
- ③ロータリーブランドの維持と拡大の為のツールやサイトの利用促進を図る…公共イメージITセミナーやSNSページで紹介した
- ④クラブの公共イメージ・IT担当者の把握と情報の共有と支援…委員会SNSページによって継続する
- ⑤世界ポリオデー、ロータリーデー、クラブ活動等の支

援…クリアファイルを制作し希望するクラブに配布した

- ⑥地区アクション表彰を選定しクラブの活性化を促進する…地区大会に併せ選定する
2. メディア対策
 - ⑦マスコミ懇談会の開催…11/20(金)開催済み
 - ⑧SNS活用勉強会の開催…開催日未定
3. 戦略計画と効果の検証
 - ⑨ロータリー認知度アンケート調査結果を基にした戦略ロードマップと数値目標の更新…成果を検証し目標を更新する
 - ⑩マスメディア等に取り上げられた活動の把握と検証…期末に集計予定

【成果と反省】

コロナ禍で当委員会に求められる役割は変化し、オンライン会議の開催支援がIT委員会の新たな役割となった。また奉仕活動の実践方法についても多くのクラブが悩みを抱えている。
こうした状況を踏まえ、私たちは新たな奉仕活動のアイデアを地区内に提供したいと考えている。

職業奉仕委員会



委員長 初瀬 照夫
(郡山RC)

1万人の女の子から9人が選ばれたNiziUのプロデューサーのJ.Y.Parkが追及する“立派な人柄”の価値観は次の3つです。

「真実」隠すものがない人になれ。カメラの前で出来ない言葉や行動は、カメラがない場所でも絶対にしないでください。気を付けようと考えないで気を付ける必要のない

立派な人になってください。

「誠実」は自分との戦いです。毎日すべきことをすることです。自分自身にムチを打って、歌の練習、ダンスの練習、語学の勉強などを続けていたらそれが積み重なって君たちの夢をかなえてくれます。

「謙虚」は言葉の謙虚や行動の謙虚ではなく心の謙虚を意味します。自分自身が足りないと思って隣にいるみんなの短所を見ないで長所だけを見て心から感謝すること。それが謙虚です。世の中に良い影響を与えるスターになってください。

来る2月20日中学生インターンシップ(職業体験)セミナーがホテルハマツで開かれます

将来を担う夢と希望にあふれる中学生を応援しましょう。

社会・国際奉仕委員会



委員長 渡辺 浩子
(福島21RC)

前期報告

①社会奉仕委員会 委員長：味戸雄二郎

◎2020年9月5日社会・国際奉仕セミナー開催 於：ビッグパレット

「東日本大震災から10年」としての福島民友新聞社小野編集局長様の講演会を開催。当時の話を直接お聞きし、福島県人・ロータリアンとして、震災のこと、原発のことを考える時間を持つことが出来た。

◎出張社会奉仕セミナー

10月5日須賀川ロータリークラブ・10月14日須賀川ぼたんロータリークラブにて開催

②国際奉仕委員会 委員長：野地トヨ子

◎2020年9月5日社会・国際奉仕セミナー開催 於：ビッグパレット

弘前アップルRCの関場慶博様に「私が歩んできた国際奉仕の軌跡そしてこれから」の演題で講演会を開催。世界のポリオ根絶に行動した足跡を熱く語っていただき、世のため世界全体が幸せになる事にならないと個人の幸せはありえない事を学んだ。

後期計画

①社会奉仕委員会

◎地区ホームページ「奉仕の実践」への登録のお願い
クラブで行っている「奉仕活動」を地区ホームページに掲載する。地区内クラブへ改めて「奉仕の実践」への掲載登録用紙を送り情報収集発信に努める。

◎出張社会奉仕セミナー

②国際奉仕委員会

◎各クラブの国際奉仕活動の情報収集・発信に努める
◎オリンピックが開催になる際は、国際奉仕の精神により協力する体制を作る

③全体計画

◎各クラブへ奉仕活動アンケート実施
全クラブへのアンケートを通してD2530の奉仕活動の実態や計画を把握し情報発信し、コロナ禍での活動のヒントやモチベーションアップに繋げる。

青少年奉仕委員会



委員長 遠藤 久
(会津若松中央RC)

後期のインターアクト委員会の計画。

特筆すべきは、台湾第3490地区と当地区のインターアクター(高校生)が、オンラインでかつ英語で6月までに2回交流をすることです。インターアクターが大変喜んでおり、コロナ禍のなか青少年が求めていることがあらためてわかりました。

ロータリーアクト委員会の計画。

白河ロータリークラブを提唱クラブとした、「白河ロータリーアクトクラブ」の設立セレモニーは、地区大会1週間

前の3月28日に行う予定です。

15名の会員に若干不足しておりますので、皆様には白河地区の年齢40歳未満までの会員候補者のご紹介を、是非ともお願い申し上げます。

RYLA委員会の計画。

今年は、中止も考えましたが、3月6日にユラックス熱海で、日帰りで行います。内容は、Zoom等を使わずに、人数制限は行いますが、リアルでRYLAの目的である、リーダーシップを体感していただくものになります。

青少年交換委員会の計画。

交換留学生の応募に、コロナ禍にもかかわらず、積極的な学生が5名も応募してくれまして、11月の面接では大いに感動いたしました。今コロナ禍の時期になぜ応募を?と疑問に思いましたが、逆に、今だから若者は海外に夢を持つのだと思っておりました。時間はかかるかもしれませんが、なんとか夢を実現させてあげたいと思います。

ロータリー財団委員会



委員長 早川 敬介
(郡山北RC)

◇前期の報告

2020.7.18. 地区ロータリー財団セミナー～前年度地区補助金プロジェクト一覧
本年度地区補助金承認プロジェクト一覧

於：福島県農業総合センター

2020.11.22. 補助金管理セミナー<参加：61/63クラブ>～

地区補助金DDFの使申請について

地区目標(年次基金・Polio Plus)達成について

於：郡山ユラックス熱海 大会議室
2020.12.20. 地区奨学生面接会～

応募者1名に対し、面接会を開催しました。

於：郡山ビッグアイ 第一会議室

◇後期の事業計画

事業計画	時期	予算	備考
会長エレクト研修会(PETS)	3月13～14日		次年度TRF DRFC
地区補助金プロジェクト審査会引継ぎ会	5月8日(予定) 14:00～		本年度・次年度TRF委員全員
地区研修・協議会	5月16日		次年度TRF委員全員

学友・フェロースhip委員会



委員長 鈴木美恵子
(福島グローバルRC)

前期活動報告及び後期の活動計画 (前期活動報告)

- 1 合同セミナー「福島に多くの学友を育てよう！」の実施

青少年奉仕委員会、米山記念奨学生委員会、学友・平和フェロースhip委員会が協力して実施した。9月19日(土)、郡山がくと館で、青少年交換留学生、地区補助金奨学生、グローバル補助金奨学生、米山記念奨学生の留学経験者のスピーチ、および富山律子さん(財団奨学生学友)のピアノコンサートを行った。本会場とオンラインで日本全国の学友、アメリカ本土、ハワイの学友も参加した。コロナ禍の対策を委員

会メンバー全員で行い、無事盛会に終了することができた。(参加者から多くの感想やご意見が寄せられた。資料参照)同時に、青少年交換留学生や地区補助金奨学生についての質問コーナー、資料なども用意して対応した。

- 2 地区補助金奨学生の選考試験の実施

2020年12月20日(日)、ビッグアイの会議室において、「ロータリー財団地区補助金奨学生選考試験」が実施された。会津若松中央RCに推薦クラブを引受けていただいた。面接官として、ガバナー、ガバナーエレクト、財団委員長他5名、および英語面接官で面接を行い、慎重に審議した結果、合格と決定した。

(後期の活動計画)

- 1 合格した地区補助金奨学生の留学準備を支援する。
- 2 次年度の地区補助金奨学生、グローバル補助金奨学生、平和フェロースhipの募集について財団委員長と協力してPRしていく。

米山記念奨学会委員会



委員長 阿部 光司
(郡山西北RC)

1. 前期の活動報告

「卓話研修会を早期に実施し、奨学生の卓話力向上を図り、多くのクラブでの卓話実施による、ロータリアンの米山理解の促進」、「カウンセラー研修会の早期開催により世話クラブ、カウンセラーの奨学生ケアの質を上げる働きかけ」、「米山梅吉記念館への研修旅行の実施」、「福島学友会主催の体験発表会」、「新規米山奨学生選考試験」などを計画しておりましたが、コロナウイルスの流行が止まらず、米山梅吉記念館研修旅行を中

止しました。そんな中、10月の米山月間での奨学生卓話の実施、12月の新規米山奨学生の選考試験を実施しました。米山委員、米山奨学生、カウンセラーとのLINEグループ利用による連絡体制の整備を行ったことにより例年よりも密な交流ができていると考えています。

2. 後期の活動計画

1月30日(土) Zoom方式による終了式を開催します。米山記念奨学から頂いた記念の盾と米山梅吉翁が三井信託株式会社時代に新入社員に贈っていた「Keep Your Name Clean (自分の名前を汚すな。)」という印字をした名刺入れをプレゼントする計画です。「世話クラブ、カウンセラーの選定」、「米山奨学生歓迎オリエンテーション」を開催する予定となっています。奨学生との交流を図れる機会を増やせる様努力していきたいと考えております。

地区幹事総括



地区幹事 関根 信
(郡山RC)

1月27日(土)午後1時30分より2020-21年度後期地区委員会総会が地区役員そして11委員会委員長他約70名の参加のもとリモートでの開催となりました。

この総会は、前期の反省を確認し後期の事業計画の発表の時間となります。

総会は、石黒秀司ガバナーの開会点鐘に始まり、ガバナー挨拶の後、平井義郎地区研修リーダーから挨拶をいただきました。

続きまして、福島佳之地区資金委員長より地区委員

会予算執行状況についての説明がありました。これより各委員会からの発表に入り、前期の成果と後期の事業計画について各委員長より6分程度の時間で説明をいただきました。

その後、平井義郎地区研修リーダーより総評をいただきました。

次に志賀利彦ガバナーエレクトより、6月12日~16日の台北国際大会についての説明がなされました。

最後に、石黒秀司ガバナーの閉会点鐘で午後3時45分総会は終了しました。

今回の後期委員会総会は、新型コロナウイルスの感染拡大により、各委員会の副委員長以上の方々にご参加をいただきながらのZoomでの開催となり、一方的な発信になったかもしれませんが、各委員長の熱意が節々に感じとられた、記憶に残る総会でありました。

各委員長他みなさんのご協力に心より感謝申し上げます。報告とします。

インターアクト交流事前打合せ会 1月18日

インターアクト委員会委員長 久井 貴弘 (郡山南RC)



1月18日(月)午前10時よりガバナー事務所に於いて、「第3490地区(台湾RC)と第2530地区のIACによるオンライン交流会の開催について」をテーマにZoom会議を開催しました。第3490地区からは、台湾RCの洪俊傑さん、当地区からは石黒ガバナー、遠藤青少年奉仕委員長、細川青少年交換委員長、IAC委員長の久井が出席しました。台湾RCの洪さんは、石黒ガバナーと旧知の仲で、日本留学経験により日本に対する造詣が深く、日本語も堪能な方です。会議は日本語で進行しましたが、洪さんの高い語学力により全く支障はありませんでした。会議では以下の内容が決められました。

- ①本年6月の年度末迄に最低2回のリモートによる意見交換会を実施。
リモートによる交流は2020-2021年度のみでなく、将来的には短期留学を視野に入れた相互交流に繋げたい。

- ②1回目はテストケースとして、交流を希望する双方の高校1校を選抜し、その2校で75分～90分(通訳を介しての意見交換の為、通常より多めの時間設定)の意見交換を行う。人数は生徒各校5名程+顧問教諭。対話はできる限り英語で行いたい。よって、IAC以外で会話のできる生徒、教師の通訳として参加も可。今回の対象高校の選定は2月6日迄に決定。
- ③交流内容(テーマ)は今後検討。「台湾の高校生と何を話したいのか?」をベースにテーマを選定。
- ④1回目の開催時期は、2月下旬から3月上旬を予定。今後日程・時間調整を行い決定。
IACの活動目的でもある「国際交流」の実践に向け、継続した活動となる様、ロータリーとしてサポートしてまいります。

ロータリーと危機管理 1月24日

地区青少年奉仕委員会委員長 遠藤 久 (会津若松中央RC)

国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構(RIJYEM)主催「ロータリーと危機管理」のZoom会議が、1月24日(日)に行われました。会議形式の予定でしたが、コロナ禍の影響で情報提供のみになりました。

4つのテーマについて、1.「ロータリーと危機管理」(地区リーダー及び委員長向け)片山勉副理事長 2.「成人ハラスメントの防止と対処」間石成人研修部門委員 3.「ハラスメントアンケート調査報告」津留起夫事務統括 4.「RYE危機管理計画について」北川雅一郎研修部門委員から詳細に説明がありました。

なお、予定より遅れていますが「危機管理計画書」のサンプルは4月に提示されるそうです。地区の危機管理計画書が完成していないと青少年交換プログラムが実施できませんので、今年度中に完成させる必要があります。

印象に残った内容には、「優先すべき日本の危機の対象」は①自然災害(地震、津波、台風、大雨、洪水など) ②パンデミック ③ハラスメント

- ④個人情報保護。RIは、ハラスメントの被疑者が有罪とされ、それに関与したロータリアンについてもクラブは会員の身分を終結する。クラブがこれを怠った場合は、RIはその身分を終結しクラブの認証を取り消す。セクハラが起こった場合、クラブ役員が知った時から、72時間以内にRIに報告しなければならない。怠った場合はクラブの認証を取り消す。などがありました。「ハラスメントアンケート調査報告」の付帯意見では、具体的なハラスメントの訴えがあり、「危機管理計画書」の早急な作成の必要性を感じました。



第2回ガバナー補佐会議 1月29日

地区幹事 関根 信 (郡山RC)

第2回ガバナー補佐会議が、令和3年1月29日(金)午後5時よりガバナー補佐8名全員が参加のもと、リモートで開催されました。

議事の内容は以下のとおりです。

(1)前期の報告と後期の計画

各分区ガバナー補佐が、前期事業の報告そして後期の計画について発表しました。特にコロナ禍の影響により各クラブのこれからの例会の有無そして開催方法でクラブ毎に異なっている旨の報告があり、またIM開催について、県北第一分区を除いては、ほとんどが中止または延期である旨の報告がありました。

(2)会員増強についての現状と今後

石黒ガバナーより過去3年間の会員数増減のデータの説明があり、本年度は特に前半の伸びは上昇していたが、12月が少なくなりました。後半改めて増強していきたい旨協力の依頼

がありました。

(3)地区大会について

石黒ガバナーより、4月4日(日)ホテルハマツ(メイン会場)郡山ビューホテル(サブ会場)とし、柳生好春氏によるクラブ活性化の為にセミナー、天野篤氏による記念講演をいただいで地区大会を実施する訳ですが、ただ2月7日後の緊急事態宣言の動向を見据えて、かかる大会のやり方等実行委員会と協議し最終的な判断をせざるを得ない旨の報告がありました。

(4)依頼事項については以下のとおり

- ①IMの補助金の返金について
- ②財団について、年次基金とポリオプラスへの寄付の協力をお願い

以上石黒ガバナーより依頼がありました。

最後に、みなさんとの意見交換をしながら、午後6時30分閉会いたしました。

地区米山記念奨学生終了式をZoomで開催！

地区米山記念奨学会委員会委員長 阿部 光司 (郡山西北RC)

去る1月30日(土)、2020-21学年度の米山記念奨学生の終了式をZoom形式にて開催致しました。今年度の卒業生は15名で、今後は日本国内や世界各地での活躍が期待されます。

石黒ガバナーの挨拶、鈴木弘康米山委員による米山終了生の紹介、藤田弘美前米山記念委員会とチンタカ・クマラ福島学友会会長の終了生へ向けた激励のことばの後、終了生のメッセージと担当カウンセラーから送別の言葉を頂きました。最後に鈴木邦典パストガバナー、渡邊公平パストガバナーより総評を頂き終了しました。コロナ禍でホテル等に集まっての華やかな催しはできませんでしたが、いつもとは違う形での催しでしたが、和やかな雰囲気の中で無事終了生を送り出すことができました。

今回は、Zoomでの開催の中でも華やかさを添えるため武島昭良米山副委員長による相撲甚句「米山奨学生を送る唄」、私による「奨学生を激励する郷ひろみスペシャルバージョン」、竹下真紀子米山委員による「日本の歌 ふるさと」を全員で合唱等を奨学生スピーチの合間に披露する形

で盛り上げることができました。

また、終了記念品として、米山梅吉翁が三井信託株式会社社長時代に新入社員に毎年贈っていた「Keep Your Name Clean」と刻印されたロータリー名刺入れを制作し全員にプレゼントさせて頂きました。この言葉を大切にして自分の名に大切にしたい生き方をして行ってくれることを願っています。

今年度の米山記念奨学会委員会事業も3月の新しい米山記念奨学生の世話クラブ・カウンセラー選定と5月の新たな米山記念奨学生歓迎オリエンテーションを残すのみとなりましたが、地区会員の皆様の米山奨学生事業へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。



会員拡大に向けて 1月30日

会員増強・拡大・ロータリー情報委員会委員長 比佐 臣一（いわき小名浜RC）

皆様!愛するロータリーの更なる発展を目指して、会員増強にご尽力を!

石黒秀司ガバナーの今年度の最重点目標『会員増強と会員維持・ロータリー情報の研鑽・浸透』と『出席率の向上』計画に基づき、地区の会員数純増252名（2クラブの解散あり調整）の目標を掲げ、クラブの規模に応じた増強目標を、80名以上の3クラブ 純増10名。50名以上の8クラブ 純増8名。40名以上13クラブ 純増5名。30名以上15クラブ、純増3名。30名未満24クラブ、純増2名と定め、皆様をお願いして参りました。

第2530地区8分区の12月末現在の成果は、県北第一分区（廣澤ガバナー補佐）が純増13名で第一位、いわき分区（林ガバナー補佐）純増12名で第2位、中央分区（藤田ガバナー補佐）が純増11名で第三位、クラブ別では、8分区63クラブ中、第一位が、根本克則会長の中央分区・郡山安積RC、純増11名で断然トップ、第二位が、鈴木礼子会長のいわき分区・いわき内郷RCが見事純増5名、第三位グループが、喜多方RC、相馬RC、小野RC それぞれ純増4名、第六位グループが、福島RC、福島南RC、福島中央RC、会津若松RC、いわき平RC、いわき小名浜RC、福島東RC、白河西RC、それぞれ純増3名であります。

地区全体63クラブの純増合計は、59名となっております。残念ながら、目標達成には、残り五か月、格段の奮闘努力が必要な状況であります。

1. 各クラブ会長さんには、会員一人が必ず会員候補一人を推薦するSAKUJI作戦の要である会員候補者推薦状の回収人数と計画達成状況の確認していただき、地区増強委員会への報告をお願いいたします。
2. 会長さんが本気になって努力している姿を見せることによってのみ、クラブの目標達成が可能であると考えております。

ロータリークラブの会員増強は、会長・幹事・会員増強委員長さん次第であります。残り半年の奮闘努力を期待しております。

3. 地区の会員増強・拡大・情報委員会の委員長・副委員長4人を先頭に地区委員会各委員に、地区内クラブの担当を決め、訪問活動をさらに拡大充実させ、例会卓話の時間を取ってもらい、後期五か月の目標達成について増強活動を行います。

去年から年初にかけて【新型コロナウイルス感染症・COVID-19】が更に拡大し、首都圏を初め多くの県で緊急事態宣言が発令され、福島県もその脅威に揺れ動く状態になっており、かつてない嵐の中の増強活動となり、皆様には大変なご苦勞をおかけしております。

しかしながら、その中でも、例えばスーパー業界やホームセンターもそうですが、巣籠需要で伸びている業種もあるし、状況を的確に分析し、現在の社会が必要としているニーズをとらえて、ネット販売網を構築して業績を大幅に向上させている企業もあり、輸出で業績を上げている企業もあります。全企業が不景気で喘いでいるわけではありません。有卦に入っている企業もあることに注目し、会員である金融機関幹部にも協力をお願いし、有力企業に関する情報を集め、心を込めて入会を勧めてほしいと考えております。

本気になって会員増強の運動に邁進し、地域で尊敬されている経営者を発掘し、その新会員が、四つのテストをはじめとするロータリーの精神・理念を身につけ、その結果、新会員の企業が更に発展し、地域の躍進に貢献してもらえたら、これほど嬉しいことはありません。何卒ご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

文書訂正のお知らせとお詫び

拝啓 時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

さて、先般配布致しました「月信12月号4P」と「月信2月号3P」の記載内容に誤りがございました。つきましては、下記の通り訂正させていただきます。ご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。 敬具

訂正箇所

12月号4Pタイトル及び表紙目次（誤）「RLI委員会 オンラインDLパートⅡ」 →（正）「オンラインRLIパートⅡ」

2月号3Pタイトル及び表紙目次（誤）「RLI委員会 オンラインDLパートⅢ」 →（正）「オンラインRLIパートⅢ」

IAC/RAC紹介

■ 喜多方桐桜高校インターアクトクラブ

認証年1969

提唱クラブ 喜多方RC

今年度の当校インターアクトクラブは29名で活動がスタートしました。新型コロナウイルスの影響で対外的な活動は出来ない現状もありましたが、通学路や校内の清掃活動を始め、夏休みには校舎内のトイレ掃除を行いました。その他、花壇の整備作業、校内での赤い羽根共同募金活動を行いました。更には、喜多方ロータリーが今年度の活動計画に掲げているネパールへの教育支援という活動方針に伴い、どういった支援が出来るかということでワークショップを開催しました。その中で、自分たちが考えられる支援を出し合い、模造紙にまとめて発表しました。今後は、その支援内容を実行できるように活動していきたいと思っています。



■ 岩瀬農業高等学校インターアクトクラブ

認証年1970

提唱クラブ 須賀川RC

「ポリオ根絶へ募金活動」

須賀川ロータリークラブは、須賀川市のJA夢みなみ農産物直売所「はたけんぼ」でポリオ根絶に向けた街頭募金活動を展開しました。

ポリオ根絶まであとわずか1%残すのみとなり、その最後の手助けとなる募金活動に当クラブも参加し協力したいとの思いが活動のきっかけです。

コロナ禍の活動だった為、募金活動は1時間程度で終了しなければなりませんでしたが、岩瀬農業高等学校インターアクトクラブの生徒皆さんの熱心な呼びかけで、たくさん募金してくださる方がいらっしゃいました。

当日は、クラブ会員12名のほか、岩瀬農業高等学校インターアクトクラブの生徒8名が参加しました。来店者にチラシを配り、多くの方にアピールすることが出来ました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、フェイスガードやマスク、手袋を着用するなど、しっかりとした配慮をしたのも今回の事業の特徴です。

1時間の募金活動で5万2614円募ることができ、ロータリー財団へ寄付させていただきました。



■ 郡山西インターアクトクラブ

認証年1974

提唱クラブ 郡山西RC

郡山西ロータリーアクトクラブは郡山西ロータリークラブ、郡山アーバンロータリークラブ2クラブを親クラブとして合同提唱されている福島県で唯一のロータリーアクトクラブです。

郡山西ロータリーアクトクラブは現在7名でクラブ活動に当たっており今期は動物や自然に着目した活動を行っていて、動物愛護団体のボランティアへ参加、ロータリークラブが主催する公園の下刈り作業へ参加するなどアクティブな活動を行っています。

コロナ禍という事もあり計画が予定通りに進まないことも少なくはありません。

しかし、我々の今年のクラブターゲットは「正気澁刺」です。

このコロナ禍の中でも「正しく」、「元気よく」に活動する事を目標にこれからも活動をしていきます。



■ いわき総合高等学校インターアクトクラブ

認証年2005

提唱クラブ いわき内郷RC

いわき内郷ロータリークラブは、1月29日（金）、いわき市いわき総合高校インターアクトクラブに所属する3年生4名に褒賞を授与し、3年間奉仕活動をたてた。

コロナ禍の中、インターアクトの活動が軒並みに中止の1年間でした。しかしながら、3年間を通し、積極的に地域の奉仕活動に従事した。褒賞を受けた牛久美咲部長、吉田和生副部長、佐久間未来さん、小泉胡春さんは、国際ロータリー第2530地区インターアクトクラブの行事の他に、献血や薬物乱用防止の呼び掛け、地域福祉の施設でのボランティアなど3年間、幅広く活動してきた。

褒賞授与式は、同校で行われ、いわき内郷RCの鈴木礼子会長と斎藤祐二青少年奉仕委員長が賞状と記念品を手渡した。牛久部長は「奉仕活動を通して、たくさんのことを学びました」と3年間を振り返り感謝した。



学友・平和フェローシップ帰国報告 1月30日

渡邊あすみ

(英国サセックス大学、大学院留学)

この度、ロータリークラブグローバル奨学生として1年間イギリスのUniversity of SussexのInstitute of Development Studiesに留学させて頂きました。1年間の留学を終えて帰国し、無事に修士号を取得致しました。

大学院進学前に青年海外協力隊としてマラウイ共和国に赴任した経験から、現場での経験を経て、よりマクロな視点で世界の貧困問題を見たい、ビジネスアプローチでの開発を勉強したい、また、将来従事したいと考えている開発の仕事に繋げたいと考え、大学院に進学致しました。大学院ではGlobalization, Business and Developmentのコースを専攻し、グローバリゼーションによってビジネス(産業政策からBOP-Base of the Pyramid-ビジネスまで)が開発に与える影響について勉強していました。開発学分野では世界トップレベルの大学院であることから、授業や教授の質の高さに加え、世界各国から集まってきた様々なバツ



クグラウンドを持った学生と共に勉強をすることができ、周りのクラスメイトからも大変良い刺激を受けることができました。興味のある分野の勉強をするのに整った環境で、修士論文では「ケニアにおけるモバイルマネーと中小企業の成長」について論文を書きました。

また、現地では現地ロータリークラブの方が温かく迎え入れてくれ、現地での色々な場所に連れて行ってくださったり、各イベントに案内して下さったりと、現地での生活を全面的にサポートして頂きました。

今回、グローバル奨学生として大学院で勉強させて頂き、大変貴重な機会となりました。このような機会を与えてくださった第2530地区のロータリー、そして推薦クラブの福島中央ロータリークラブには大変感謝いたします。今後は、これまでの経験、大学院で学んだ内容を生かしてロータリークラブ、社会に貢献していきたいと考えております。この度はこのような貴重な機会を頂き、ありがとうございました。



長峯将司朗マーティン

カナダ・ブリティッシュコロンビア大学

(The University of British Columbia)

「たくさん失敗してきなさい」これは、私のアメリカ人の母が、カナダ行きの飛行機に乗る直前に言ってくれた言葉です。たくさん失敗するというのは、言葉だけでは簡単なことですが、実際に経験することは、非常に恥ずかしく、苦しいものです。私は、母の言葉通り、カナダで勉強した1年間でたくさんの失敗をして、恥ずかしく、苦しい思いをしてきました。しかし、これらを、思い出すだけで汗をかいてしまうような苦い経験が留学生活をより豊かにするために必要不可欠な要素だったことに後から気がきました。この文章では、私が留学中にどのような経験・失敗をしたか、そして、その経験や失敗から何を学び、これからの具体的な目標を書いていきます。

まず、私が通っている、ブリティッシュ・コロンビア大学とは、どのような大学なのかについて説明します。私が、ブリティッシュ・コロンビア大学を選んだ一番の理由は、世界トップクラスに多種多様な人種が集まるからです。世界162カ国から生徒が集まり、カナダで最も美しいと言われる、自然豊かで巨大なキャンパスで勉強する光景は、まさに圧巻でした。多種多様なバックグラウンドを持った生徒が、授業ごとに講義室に集まり、自分では考え付かないような鋭い意見が飛び交っている雰囲気は、絶対に日本では経験できないことだと思います。そのような激しい環境で勉強することは、嫌でも自分の勉強に対する意識を向上させます。嬉しいことに、様々な国からの生徒が日本に興味を持ってくれていて、授業で日本の話題になると、自分に意見を求められることもよくありました。しかし、私は、日本についてはある程度理解しているつもりでしたが、うまく説明することができないことが何度かありました。本当に恥ずかしかったし、悔しかったです。そのため、毎回、授業が終わると、何かの圧から解放されたかのようにぐったりしていました。このことから、自分は、日本を代表しているつもりで勉強し、授業に出席しなければならぬと感じました。よく留学に行くことのメリットとして、自分の視野を広げることができるという意見を見かけます。確かに、留学では、他の国の生徒から多くを学び、自分の視野を広げることができます。しかし、私は、日本人としての意見を求められていく中で、広い視野だけでなく、「深さ」も身につけることができたのではないかと思います。様々な人種の生徒たちとの関係を深めるためにも、自分に関することをしっかり説明するというスキルは必要不可欠で、その基盤となるのは、日々の自分に対する深い理解力と思考力なのだと思ってきました。この学びは、世界トップクラスの多種多様な人種が集まる環境だからこそ、身に付けられたものではないかと思います。

次に、グローバルで通用するリーダーシップの必要性についてで

す。私は、日本では、コミュニティ内で常にリーダーシップを発揮するタイプの人間でした。高校時代の野球部でも、エースピッチャーとして普段の練習からチームを引っ張っていました。しかし、カナダでは、そのようなことが全くできませんでした。原因は主に2つあります。1つは、単純な語学力の不足です。日本語では、100%伝えたいことを言語化して相手に伝えられますが、英語になった途端、本来伝えたいことの60%ほどの表現でしか伝えられませんでした。やはり、自分が伝えたいことが相手に100%伝わらない悔しさは大きかったです。このことから、組織の中心的な役割を果たすには、さらに英語力を鍛えるしかないと感じました。もう1つは、グローバルに通用するコミュニケーション能力の不足です。ここでは、語学力不足というよりは、どのようにすれば相手の本音を引き出せるかなどの、より深い部分についてです。例えば、日本では空気をよんで行動することが求められる場面がありますが、海外では物事を相手にはっきり伝える必要がある場面の方が多かったです。僕は、生まれてからずっと日本の文化で育ってきたため、どのようにすれば海外で通用するリーダーシップを発揮できるかをまだ理解できていません。そこで、海外で通用するリーダーシップを身に付けるために、より多くのコミュニティに属す必要性を感じました。勉強だけではなく、スポーツチームに入ることや、ボランティア活動などを通して、語学力不足や海外におけるコミュニケーション能力を養っていきたくて考えています。残りの3年間で経験を積み、卒業するときは、堂々と日本だけでなく、世界中に通用するリーダーシップを発揮できる人材になりたいです。

このように、たった1年間で、私は、思い出すだけで顔が赤くなってしまような失敗をたくさんしてきました。しかし、失敗するたびに、なぜ失敗したかを分析し、どのようにすれば良い方向に向かわせることができるかを考察してきました。やはり、失敗した後に、その失敗を成功体験にできた時の嬉しさはなんともいえない経験です。自分が成長しているの一番実感している瞬間でもあります。このような強烈な体験ができるのも、周りの方達の支えがあってこそです。私は、留学中は常に感謝の気持ちを忘れないように日々過ごすように心がけています。そうすることで、毎日を充実させられるため、これからも感謝の気持ちを忘れずに留学生活を送っていきたくてです。



ラーニングセンター利用状況

2018-19PDG 平井 義郎 (福島中央RC)

コース別受講状況 (利用者10名以上)

Learning Plan	会員数
クラブ会長の基本	69
クラブ幹事の基本	30
あなたのクラブは健康ですか?	20
クラブの会員増強計画	20
ロータリーの基本知識	17
地区チームとの協力	17
就任の準備: ガバナー補佐	16
ガバナー補佐の基本	16
ガバナー訪問を最大限に生かす	16
クラブ財務の管理: クラブ幹事	15
就任への準備: クラブ幹事	15
クラブリーダーとの協力: クラブ幹事	15
クラブの会員増強策を立てる: 会員増強委員会	14
クラブ会員増強委員会の基本	14
就任への準備: クラブ会員増強委員会	14
クラブ会員基盤の多様化	13
クラブ管理運営委員会の基本	13
ロータリーブランド	13
就任への準備: クラブ管理運営委員会	13
クラブの組織: クラブ管理運営委員会	13
クラブ会計の基本	12
クラブ財務の管理: クラブ会計	12
就任への準備: クラブ会計	12
クラブ運営に柔軟性と革新を取り入れる	11
ロータリー財団基本コース	11
ロータリーの公共イメージを築く	10
ファンドレイジングの基本	10
会員参加を促すためのベストプラクティス	10

利用者のコース登録数
(例:50コース登録した会員は1名)

登録コース数	会員数
50	1
42	1
40	2
35	1
33	1
32	2
31	2
27	1
23	2
22	1
21	3
20	2
18	1
17	2
16	4
15	5
14	5
13	8
12	8
11	14
10	26
9	4
8	1
7	1
6	11
5	1
4	4
3	2
2	3
1	13

クラブ別利用会員数

クラブ	登録会員数	クラブ	登録会員数
会津坂下	1	いわき内郷	1
会津若松	2	いわき四倉	2
会津若松城南	2	川俣	2
会津若松南	1	喜多方	3
会津若松西	2	郡山	3
会津若松中央	2	郡山コスモス	2
福島	3	郡山東	1
福島21	1	郡山北	2
福島中央	9	郡山西北	2
福島東	1	郡山南	5
福島グローバル	4	郡山アーバン	3
福島北	3	郡山西北	1
福島しんたつ	1	三春	5
福島南	6	南相馬	1
福島西	2	本宮	2
船引	3	浪江	1
原町	1	二本松	3
原町中央	1	二本松あだたら	2
東白川	1	小野	2
保原	2	白河	2
飯坂	1	白河西	6
猪苗代	3	相馬	2
石川	1	須賀川	3
いわき桜	1	須賀川ぼたん	1
いわき桜小名浜	2	田島	1
いわき平	3	常葉	1
いわき平中央	1	富岡	2
いわき平東	2		

職業奉仕委員会

職業奉仕委員会 田代 行孝 (白河RC)



先人に学ぶ職業奉仕

～松下幸之助の唱える職業奉仕～

松下電器産業（現パナソニック）創業者である松下幸之助氏が大阪ロータリークラブに所属していたことは広く知られていますが、彼はロータリーにおける職業奉仕について次のように述べています。

「お互いの仕事なり職業というのは、それぞれに自分の意志で選び、自分の力でやっているようではあるが、本来は、社会がそれを必要としているからこそ成り立つものである。…ロータリークラブの大きな目標の一つである「職業奉仕」ということも、基本的な職業観とでもいうものに立って考えられなくてはならないと思う。つまり、ただ何となく、自分の職業を通じて社会に奉仕するというようなことでは、もう一つかよわい。そうでなく、自分の職業は社会にやらせてもらっているのだ。いいかえれば、社会に奉仕貢献することによってのみ存在し得るのであり、そうでなければ、この仕事は全く存在価値がないのだ、という認識をしっかりと持たなくてはならないということである。そういう自分の仕事の意義の自覚に立って、その大切な仕事に謙虚に誠実に、そして熱心に取り組み、世の中の求めに精一杯答えていくことが、職業奉仕として第一に考えられなくてはならない」(注1)。

一般的にロータリーにおける職業奉仕は、クラブ会員が自己の職業を通じて他者に奉仕しながら、高い高潔性をめざすこととされていますが、松下幸之助氏が唱える職業奉仕は、社会に奉仕貢献をすることで存在価値があるという職業観（働くことに対する価値観）に基づき解釈している点に特徴があります。

さらに同氏は企業の社会的責任について、「企業というものはいわば天下の金、天下の人、天下の土地を擁して事業を営んでいるのである。その企業が事業活動を通じて、何かしら社会にプラスするものを生み出さないなどということは許されない。それでは企業の存在の意義はないと言っていいであろう。その意味で、企業の社会的責任というものは、厳しく問われなければならない」と説いています。

松下幸之助氏の寄稿文が掲載された「友」英語版創刊号を読んで感銘を受けたジャック・プライド元RI第1副会長は、「職業奉仕とは、活動だけでなく思想を含めた、奉仕の生活である。だが職業奉仕の実践は時として愉快なものではないかも知れない。時間とそして金銭的犠牲を余儀なくされることもあるはずだ。なぜなら各ロータリアンはただひとりでその職業分類を代表しているからである。職業奉仕は孤独なそして個人的な課題ではある。だがこの道をゆく人は何かよいことをしたときに思いがけず生まれるあの幸福を発見することだろう。よいと信じたことは、実行する価値がある」と述べています。

先人の知恵から学ぶことは多々ありますが、ロータリーにおける職業奉仕は、職業サービスを念頭に相手の立場に立った職業活動を行い、相手の喜びを自分の喜びとしながら、職業人としてのより高い倫理の向上に努め、世の中に広めていくことにあると考えております。

注1 松下幸之助「職業奉仕ということ」(1970年1月「友」)

阿久津 肇パストガバナー「RI超我の奉仕賞」を受賞



この度、阿久津肇パストガバナーが、2020-21年度「RI超我の奉仕賞」を受賞されます。ここに、謹んで皆様にお知らせいたします。この賞は、ロータリーの標語「超我の奉仕」を象徴する模範的な人道的ロータリー奉仕活動をしたロータリアンに贈られる賞で

す。ロータリーの奉仕部門を問わず、RIの目標の推進に際立った努力をした人を表彰するものであり、ロータリアンに対するロータリーの与える最高の榮譽と言われています。当地区では2001-02年度に故田中善六PG（福島RC）、2017-18年度に佐原元PG（喜多方RC）に次いで三人目の榮譽ある受賞となります。

新会員紹介

■中央分区
郡山南RC
菅野 克樹
■入会日 2021年1月14日入会
■職業分類 建築一式
■勤務先 ㈱伊藤建築工業

■中央分区
郡山南RC
米澤 昇二
■入会日 2021年1月14日入会
■職業分類 輸入機械卸売業
■勤務先 プラストロン株式会社

■会津分区
会津若松西RC
小島 正徳
■入会日 2021年1月28日入会
■職業分類 建築業
■勤務先 ㈱星光

■東北第二分区
保原RC
鈴木 信之
■入会日 2021年1月6日入会
■職業分類 建築板金
■勤務先 有限会社 鈴木板金店

■県南分区
白河西RC
瀬谷 隆志
■入会日 2021年12月9日入会
■職業分類 児童福祉
■勤務先 合同会社 イロドリ

■相双分区
原町中央RC
岡田 弘行
■入会日 2021年1月6日入会
■職業分類 小売業
■勤務先 ㈱アウトリガー

■相双分区
原町中央RC
中田 則行
■入会日 2021年1月6日入会
■職業分類 事務用品配布
■勤務先 ㈱大一事務機

■相双分区
原町中央RC
菅野 行雄
■入会日 2021年1月6日入会
■職業分類 食品製造販売業
■勤務先 ㈱菅野漬物食品

■相双分区
原町中央RC
大谷 光明
■入会日 2021年1月6日入会
■職業分類 不動産業
■勤務先 大谷総蔵合名会社

ロータリー財団ご寄付の認証者

■東北第一分区
福島南RC
鈴木 洋子
(ベネファクター)

■東北第一分区
福島南RC
佐久間 功
(マルチプル・ボール・ハリス・フェロー +7)

■東北第一分区
福島南RC
武藤 正隆
(マルチプル・ボール・ハリス・フェロー +6)

■東北第一分区
福島南RC
尾形 博幸
(マルチプル・ボール・ハリス・フェロー +1)

■東北第一分区
福島南RC
安斎 常克
(ボール・ハリス・フェロー)

■東北第一分区
福島中央RC
大出 隆秀
(ベネファクター)

■東北第一分区
福島中央RC
今野 朗
(マルチプル・ボール・ハリス・フェロー +3)

■東北第一分区
福島中央RC
舟山 裕二
(ボール・ハリス・フェロー)

■東北第一分区
福島中央RC
佐藤 龍史
(ボール・ハリス・フェロー)

■会津分区
喜多方RC
佐藤 正道
(メジャー・ドナー・レベル1)
(ベネファクター)
(マルチプル・ボール・ハリス・フェロー +8)

■会津分区
喜多方RC
庄司 英喜
(ボール・ハリス・フェロー)

■会津分区
喜多方中央RC
志田 公司
(マルチプル・ボール・ハリス・フェロー +4)

米山記念奨学会ご寄付の表彰者

■東北第一分区
福島中央RC
栗村 正紀
(第31回米山功労者メジャー・ドナー)

■東北第一分区
福島中央RC
熊坂 友好
(第11回米山功労者メジャー・ドナー)

■東北第一分区
福島中央RC
平井 義郎
(第10回米山功労者メジャー・ドナー)

■東北第一分区
福島中央RC
芳賀 裕
(第7回米山功労者マルチプル)

■東北第一分区
福島中央RC
佐藤 和子
(第7回米山功労者マルチプル)

■東北第一分区
福島中央RC
渡邊 英世
(第3回米山功労者マルチプル)

■会津分区
喜多方RC
佐原 元
(第22回メジャー・ドナー)

■会津分区
喜多方RC
風間 正行
(第7回米山功労者マルチプル)

■会津分区
喜多方RC
佐藤 富次郎
(第6回米山功労者マルチプル)

■会津分区
喜多方RC
星 富士雄
(第5回米山功労者マルチプル)

■会津分区
喜多方RC
佐藤 正道
(第4回米山功労者マルチプル)

■会津分区
喜多方RC
飯塚 幸作
(新米山功労者)

■会津分区
喜多方中央RC
新國 善信
(新米山功労者)

1月会員数報告とMy ROTARY登録率・生年月日登録率

分区	クラブ	7/1現在会員数 (内女性)	当月開始会員数 (内女性)	当月入会者数 (内女性)	当月退会者数 (内女性)	当月末会員数 (内女性)	例会 回数	出席率(%) (参考)	My ROTARY 登録率(1/27)	生年月日 登録率(1/28)
中央 分区	郡山	98 (0)	99 (0)	2 (0)	1 (0)	100 (0)	2	83.25 %	18.00 %	20.00 %
	郡山西	39 (0)	39 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (0)	1	100.00 %	79.49 %	2.56 %
	郡山東	33 (3)	33 (3)	0 (0)	0 (0)	33 (3)	3	74.75 %	87.88 %	57.58 %
	郡山南	85 (12)	87 (12)	2 (0)	0 (0)	89 (12)	3	87.14 %	78.65 %	84.27 %
	郡山北	41 (1)	42 (1)	0 (0)	0 (0)	42 (1)	1	70.00 %	57.14 %	16.67 %
	郡山西北	44 (1)	43 (1)	0 (0)	0 (0)	43 (1)	1	100.00 %	27.91 %	16.28 %
	郡山安積	39 (3)	50 (3)	0 (0)	0 (0)	50 (3)	0	— %	26.00 %	14.00 %
	郡山アーバン	30 (14)	30 (14)	0 (0)	0 (0)	30 (14)	2	72.41 %	70.00 %	26.67 %
	郡山コスモス	19 (4)	18 (4)	0 (0)	0 (0)	18 (4)	1	100.00 %	83.33 %	66.67 %
福島グローバル	19 (2)	19 (2)	0 (0)	0 (0)	19 (2)	2	43.24 %	78.95 %	94.74 %	
中央分区小計	447 (40)	460 (40)	4 (0)	1 (0)	463 (40)		81.20 %	60.74 %	39.94 %	
県北 第一分区	福島	90 (5)	93 (7)	0 (0)	0 (0)	93 (7)	1	93.02 %	100.00 %	97.85 %
	二本松	36 (2)	37 (4)	0 (0)	0 (0)	37 (4)	0	— %	65.79 %	86.49 %
	福島南	73 (6)	73 (6)	0 (0)	0 (0)	73 (6)	0	— %	72.60 %	95.89 %
	福島西	22 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	2	85.71 %	69.57 %	95.65 %
	福島中央	51 (3)	54 (4)	0 (0)	0 (0)	54 (4)	2	64.36 %	96.30 %	100.00 %
	二本松あだたら	35 (5)	36 (6)	0 (0)	0 (0)	36 (6)	1	88.33 %	97.22 %	97.22 %
	福島21	45 (4)	46 (5)	0 (0)	0 (0)	46 (5)	0	— %	97.83 %	97.83 %
県北第一分区小計	352 (27)	362 (34)	0 (0)	0 (0)	362 (34)		82.86 %	85.62 %	95.85 %	
会津 分区	会津若松	51 (0)	54 (0)	0 (0)	0 (0)	54 (0)	0	— %	33.33 %	87.04 %
	喜多方	44 (0)	48 (0)	0 (0)	0 (0)	48 (0)	4	60.21 %	100.00 %	100.00 %
	会津若松西	20 (0)	22 (0)	1 (0)	0 (0)	23 (0)	4	85.39 %	63.64 %	86.96 %
	猪苗代	27 (4)	27 (4)	0 (0)	0 (0)	27 (4)	1	78.26 %	96.30 %	81.48 %
	会津坂下	32 (0)	32 (0)	0 (0)	0 (0)	32 (0)	4	100.00 %	75.00 %	3.13 %
	田島	37 (0)	36 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (0)	1	77.78 %	64.86 %	69.44 %
	会津若松南	17 (1)	17 (1)	0 (0)	0 (0)	17 (1)	0	— %	29.41 %	100.00 %
	会津若松城南	26 (0)	26 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (0)	0	— %	38.46 %	92.31 %
	喜多方中央	31 (1)	32 (1)	0 (0)	0 (0)	32 (1)	3	68.09 %	75.00 %	96.88 %
会津若松中央	21 (8)	20 (7)	0 (0)	0 (0)	20 (7)	3	75.00 %	90.00 %	95.00 %	
会津分区小計	306 (14)	314 (13)	1 (0)	0 (0)	315 (13)		77.82 %	66.60 %	81.22 %	
いわき 分区	いわき平	48 (0)	51 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (0)	0	— %	17.65 %	100.00 %
	いわき小名浜	68 (0)	71 (0)	1 (0)	0 (0)	72 (0)	0	— %	25.35 %	95.83 %
	いわき勿来	46 (0)	45 (0)	0 (0)	0 (0)	45 (0)	1	71.11 %	28.00 %	100.00 %
	いわき内郷	18 (1)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	0	— %	26.09 %	52.17 %
	いわき常磐	17 (0)	16 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (0)	1	83.33 %	37.50 %	87.50 %
	いわき平東	43 (2)	44 (2)	0 (0)	0 (0)	44 (2)	1	92.50 %	95.45 %	95.45 %
	いわき四倉	11 (3)	11 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (3)	0	— %	27.27 %	90.91 %
	いわき平中央	31 (4)	32 (4)	0 (0)	0 (0)	32 (4)	3	28.13 %	25.00 %	93.75 %
いわき桜	15 (15)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	1	53.33 %	86.67 %	86.67 %	
いわき分区小計	297 (25)	308 (26)	1 (0)	0 (0)	309 (26)		65.68 %	41.00 %	89.14 %	
県北 第二分区	飯坂	40 (4)	39 (4)	0 (0)	1 (0)	38 (4)	1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	福島	53 (0)	53 (0)	0 (0)	0 (0)	53 (0)	0	— %	100.00 %	100.00 %
	保原	26 (1)	26 (1)	1 (0)	0 (0)	27 (1)	2	75.00 %	62.96 %	100.00 %
	福島東	37 (3)	40 (3)	0 (0)	0 (0)	40 (3)	0	— %	80.00 %	97.50 %
	梁川	16 (1)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	1	76.47 %	70.59 %	100.00 %
	川俣	33 (1)	35 (1)	1 (0)	0 (0)	36 (1)	1	20.00 %	66.67 %	100.00 %
	だて西	8 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		%	%	%
福島しんたつ	26 (3)	25 (3)	0 (0)	1 (0)	24 (3)	0	— %	62.50 %	100.00 %	
県北第二分区小計	239 (15)	235 (14)	2 (0)	2 (0)	235 (14)		67.87 %	77.53 %	99.64 %	
県南 分区	白河	43 (3)	42 (3)	0 (0)	0 (0)	42 (3)	2	47.50 %	35.71 %	16.67 %
	須賀川	42 (0)	44 (0)	0 (0)	0 (0)	44 (0)	0	— %	11.36 %	84.09 %
	東白川	10 (0)	11 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0)	1	100.00 %	30.00 %	90.91 %
	石川	36 (1)	36 (1)	0 (0)	0 (0)	36 (1)	2	92.31 %	25.00 %	100.00 %
	矢吹	13 (1)	12 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (1)	3	66.67 %	25.00 %	16.67 %
	白河西	58 (5)	61 (5)	0 (0)	0 (0)	61 (5)	3	62.87 %	80.33 %	100.00 %
	須賀川ぼたん	12 (0)	13 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (0)	0	— %	46.15 %	84.62 %
白河南	17 (0)	17 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (0)	3	55.26 %	11.76 %	0.00 %	
県南分区小計	231 (10)	236 (10)	0 (0)	0 (0)	236 (10)		70.77 %	33.16 %	61.62 %	
相双 分区	原町	25 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	2	44.16 %	17.39 %	95.83 %
	相馬	28 (3)	32 (5)	0 (0)	0 (0)	32 (5)	3	73.85 %	25.00 %	84.38 %
	浪江	44 (2)	46 (3)	0 (0)	0 (0)	46 (3)	1	52.17 %	23.91 %	93.48 %
	富岡	36 (3)	37 (4)	3 (0)	1 (0)	39 (4)	0	— %	33.33 %	94.87 %
	原町中央	37 (6)	39 (6)	4 (0)	0 (0)	43 (6)	1	72.22 %	17.95 %	88.37 %
南相馬	28 (4)	28 (4)	0 (0)	1 (0)	27 (4)	1	100.00 %	92.86 %	100.00 %	
相双分区小計	198 (18)	206 (22)	7 (0)	2 (0)	211 (22)		68.48 %	35.07 %	92.82 %	
県中 分区	本宮	34 (5)	34 (5)	0 (0)	0 (0)	34 (5)	2	57.81 %	38.24 %	100.00 %
	三春	23 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	3	76.81 %	69.57 %	73.91 %
	常葉	22 (0)	22 (0)	1 (0)	1 (0)	22 (0)	2	90.91 %	32.50 %	100.00 %
	滝根	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	船引	47 (3)	47 (3)	0 (0)	0 (0)	47 (3)	2	56.38 %	59.57 %	6.38 %
小野	15 (0)	19 (1)	0 (0)	0 (0)	19 (1)	0	— %	26.67 %	21.05 %	
県中分区小計	143 (10)	147 (11)	1 (0)	1 (0)	147 (11)		76.38 %	54.43 %	66.89 %	
2530地区合計	2,213 (159)	2,268 (170)	16 (0)	6 (0)	2,278 (170)		73.88 %	56.77 %	78.39 %	

※7/1現在会員数には7/1入会者6名を含む。白河西RCの女性会員数を4名から5名に訂正いたします。
 ※生年月日登録率は、My ROTARYに生年月日を登録している割合です。

2021年2月10日

国際ロータリー第2530地区
ロータリークラブ会員 各位

国際ロータリー第2530地区
ガバナー 石黒 秀司
地区大会実行委員長 太田 宏

国際ロータリー第2530地区 2020-21年度 地区大会のご連絡

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より地区ロータリー活動に対してご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月4日（日）地区大会のご案内をさせて頂きましたが、「今年度、期間中の会合はバーチャル（オンライン）での実施を強く推奨する」とした要旨の文章が2月2日付けでロータリー事務総長から、2月8日付けで日本事務局から発出されました。

つきましては、1月21日付けで発送致しました「国際ロータリー第2530地区2020-21年度地区大会ご登録のお願い」及び「地区大会記念チャリティー親善ゴルフ大会」等につきましては皆様方の**ご登録を一時中止していただきたくご連絡申し上げます。**

なお、コロナ禍の中、厳しい大会運営を余儀なくされております。只今、実行委員会で、地区大会内容について鋭意検討を加えておりますので決定次第後日**地区大会要項を再度ご連絡申し上げます**ので、ロータリーの友情に免じてご容赦頂ければ幸いです。

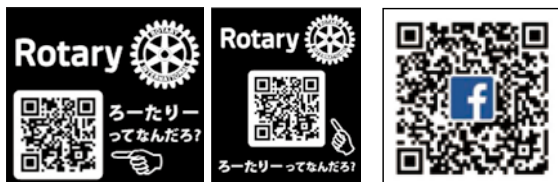
敬具

行事案内（3月）

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| ◆RYLA研修会 | 日程：3月6日(土) 中止 |
| ◆「地区のあゆみ」編集委員会 | 日程：3月7日(日) |
| ◆会長エレクト研修セミナー Zoom | 日程：3月13日(土) |
| ◆第33回全国ローターアクト研修会 Zoom | 日程：3月14日(日) |
| ◆福島RC70周年式典 | 日程：3月27日(土) 場所：ウエディングエルティ |
| ◆白河RCローターアクト設立予定 | 日程：3月28日(日) 場所：東京第一ホテル新白河 |

公共イメージIT委員会からのお願い

スマホのカメラでQRコード読み取り「お気に入り」登録や「いいね」をお願いします。



紹介HP新聞掲載用デザイン
(福島民報、福島民友)

公共イメージIT委員会
Facebookページ

〈 今月の表紙紹介 〉



いわき小名浜RC 坂本和久

いわき市常磐湯本町にある梅林寺。県の八十八箇所霊場の第二番札所です。境内には約120本の紅梅・白梅がありますが、紅梅の見頃を経てこれからは私に任せるとばかりの白梅が咲き初めています。